

<刊行に寄せて>

本年度も無事に『フマーナ』を刊行することができました。玉稿をお寄せ下さいました4名の先生方に、厚く御礼申し上げます。

2015年9月に下鴨キャンパスに移転して以降、稲盛記念会館東側で建設が行われていました「新資料館」が完成し、昨年12月23日に「京都学・歴彩館」としてプレ・オープンしました。現在は一部の機能が使用できるのみとなっていますが、本年4月にはグランド・オープンが予定されていますし、それにあわせて地下鉄北山駅からのアクセス・ルートも整備される予定で、新年度には学術・文化・芸術の中心を形成する北山ゾーンが完成し、名実ともに本格稼働することになります。また、西側に隣接する府立植物園への新しいゲートが、稲盛記念会館南西側に現在建設中ですが、こちらも新年度にはオープンする予定です。本学学生は、学生証の提示により無料で植物園に入場できるため、下鴨キャンパスから直接アクセスできるようになることで、利用が増えるのではないのでしょうか。それとともに、一般の方々も下鴨キャンパスを散策したり通路として利用したりすることが増えると思われます。キャンパス移転の前から課題とされていた大学のセキュリティに関する事項が、ますます現実の問題となってくることでしょう。

京都府立大学・京都工芸繊維大学と実施しております3大学教養教育共同化事業は、本年3月で開始から丸5年が過ぎ、文部科学省からの補助金が終了し、独自の予算で進めることとなります。これから、真の成果を試される時期になると思いますが、それにあわせて、本年4月からは府立大学と工芸繊維大学の2年生以上を対象とする「医学概論」という授業が、本学の基礎・臨床の先生方によりオムニバス形式で開講されます。本学の強みを生かした授業として、他大学の学生の皆さんに興味を持っていただけることを期待しております。

さて、早いもので、2015年4月に教養教育部長を拝命してから2年が経とうとしております。今年の3月で私の任期は終わりますが、下鴨キャンパスの先生方と事務職員の皆様のお力添えのお蔭様によりまして、この間学生に関わる大きなトラブルや問題は全く起こらず、極めて平穩無事に務めさせていただくことができました。皆様方のご尽力とご協力に深く感謝申し上げます。

木塚雅貴

編集委員

人文・社会科学教室 瀬戸山 晃一
(Koichi SETOYAMA)

第一外国語教室 木塚 雅貴
(Masataka KIZUKA)

数学教室 長崎 生光
(Ikumitsu NAGASAKI)

物理学教室 上原 正三
(Shozo UEHARA)

化学教室 鈴木 孝禎
(Takayoshi SUZUKI)

生物学教室 小野 勝彦
(Katsuhiko ONO)

STUDIA HUMANA et NATURALIA 50 (非売品)

平成29年2月10日 印刷

平成29年2月17日 発行

編集兼 京都府立医科大学医学部医学科 (教養教育)

発行者 代表者 木塚 雅貴

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-5

教養教育共同化施設「稲盛記念会館」

電話(075)703-4921

印刷所 (株) 田 中 プ リ ン ト
